

2 町税及び国民健康保険税について

① 収納率について

ア 町税の収納率は、平成22年度より0.7ポイント向上し88.4%ですが、滞納繰越分の徴収率が18.0%と低いため、徴収率90%以上は難しい状況です。

イ 町税の平成23年度分9億7300万円は、平成22年度9億7600万円より300万円減額です。

主な要因の一つとしては、2年連続して個人所得の減と考えられます。

ウ 国民健康保険税の収納率は、平成22年度より1.0ポイント上がっていますが、依然として60.2%と低い状態です。一方、療養給付費及び療養費は、平成22年度より約7700万円増額しており、このような状態が続く場合、保険税算定に影響を及ぼしかねないと危惧しています。

② 時効中断及び差押等について

ア 平成23年度町税及び国民健康保険税の差押は、預金104件、不動産7件及び給与1件でしたが、今後も引き続き、差押が行われることと思います。

イ 督促等の弛緩、滞納者の意図的な納付・

応対等の拒否により町税等が消滅時効にならぬよう差押の時期も含めた各種の管理が重要です。

ウ 納付について更なる理解を得られるように努力するとともに、差押をより効果的に行うことが必要と考えます。

③ 延滞金の納付について

本町は、納付の遅延者に法令で定められた延滞金を納付させていません。

法的処分の際、県及び近隣の市も延滞金を納付させていることを踏まえ、公正を期するため、延滞金の納付を検討する必要があると前年度同様に思料します。

3 住宅新築資金等貸付金及び町営住宅使用料について

① 住宅新築資金等貸付金の収納率は

7.6%で、平成22年度より0.8ポイント下がり、特に現年度分収納率が毎年下がり、平成23年度は55.1%で2.6ポイントも悪化しているのは問題です。

② 町営住宅使用料の収納率は61.8%で、

平成22年度より2.1ポイント下がり、特に滞納繰越分の収納率13.0%で3.9ポイントも悪化しています。

③ 近隣の市も参考にして、収納方を検討する必要があると思います。

4 保育料について

保育料の収納率は88.7%で、平成22年度より1.1ポイント上がり、特に現年度分の収納率が前年度より1.8ポイント向上しています。主な要因は、子ども手当からの保育料の支払及び預金の差押の理解等を得られたことによるものと思料しますので、さらに推進することが重要です。

